

平面計画の概要（4階平面図）

小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進

西日の強い日射を低減する

＜交流ホール＞（共通）
・建物をつなぐ、長い廊下に対して「自然採光・自然通風」の確保

小学校ゾーン

＜特別支援学級＞
・普通学級の児童生徒との交流を図るため
・校種ごとのまとまりを重視し、小・中それぞれの

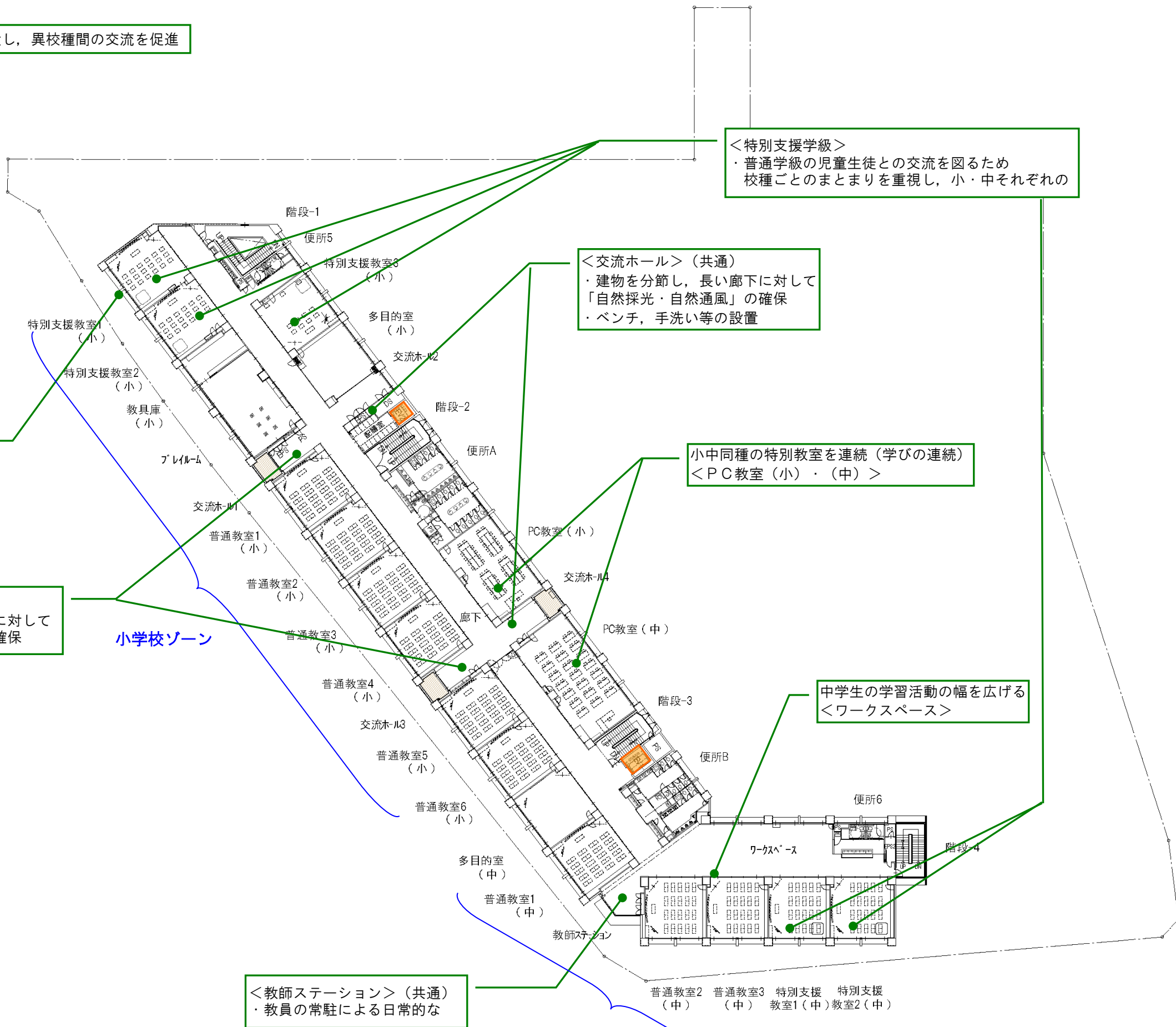
＜交流ホール＞（共通）
・建物をつなぐ、長い廊下に対して「自然採光・自然通風」の確保
・ベンチ、手洗い等の設置

小中同種の特別教室を連続（学びの連続）
＜PC教室（小）・（中）＞

中学生の学習活動の幅を広げる
＜ワークスペース＞

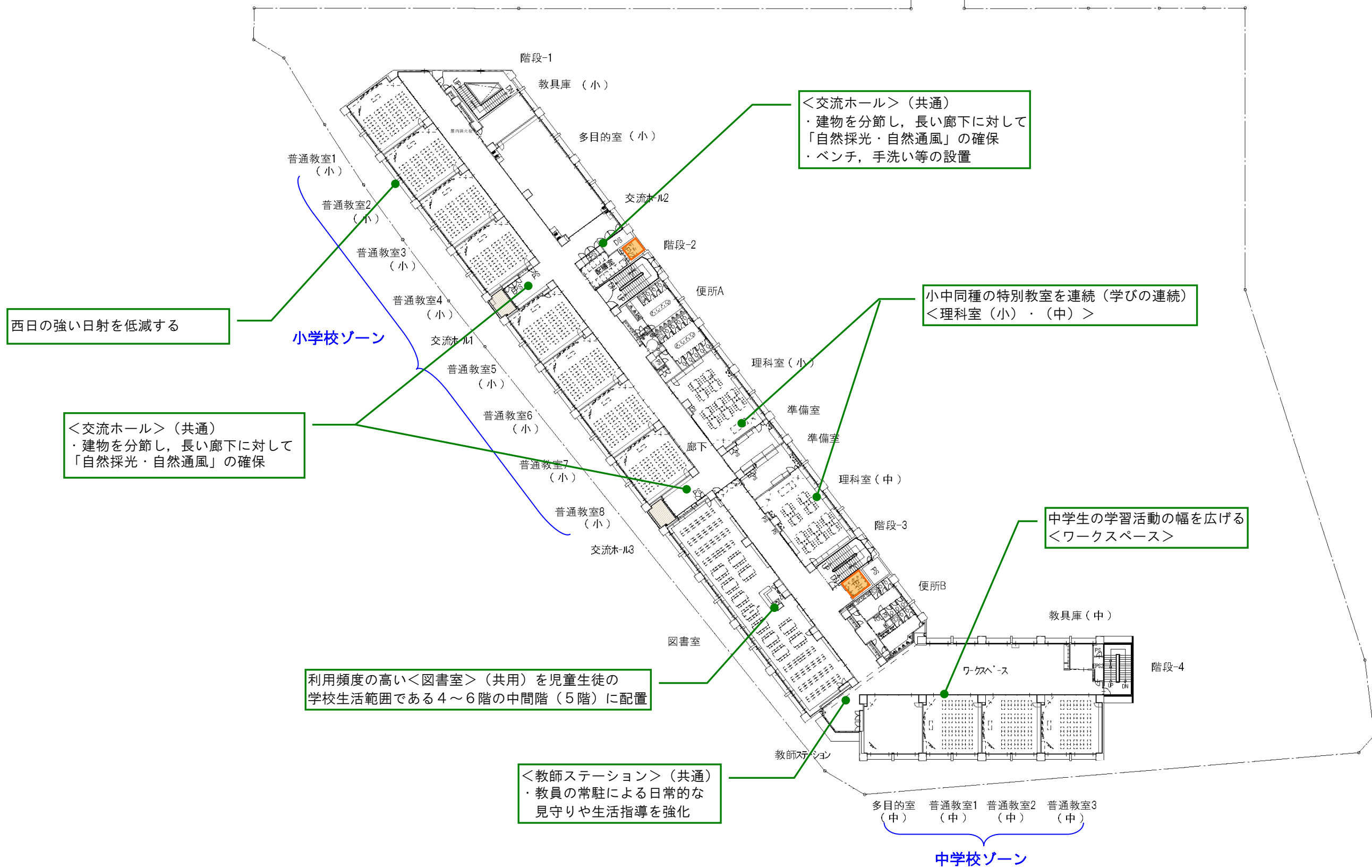
＜教師ステーション＞（共通）
・教員の常駐による日常的な

中学校ゾーン



平面計画の概要（5階平面図）

小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進



平面計画の概要（6階平面図）

小・中の教室を同フロアに配置し、異校種間の交流を促進

西日の強い日射を低減する

小学校ゾーン

小・中学生交流のための<ランチルーム>

<ランチルーム>と<家庭科調理室>との連携

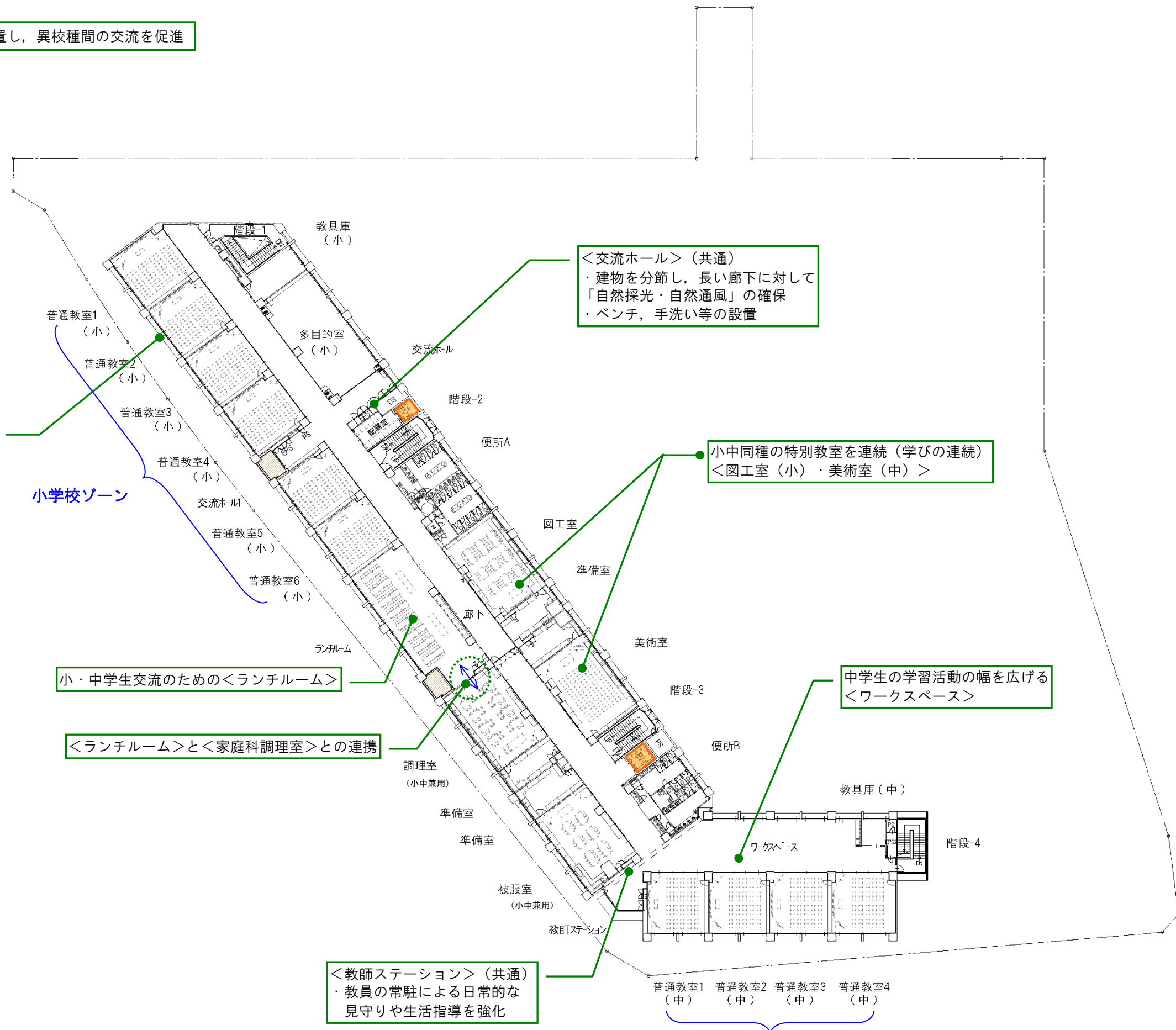
<教師ステーション>（共通）
・教員の常駐による日常的な見守りや生活指導を強化

<交流ホール>（共通）
・建物を分節し、長い廊下に対して「自然採光・自然通風」の確保
・ベンチ、手洗い等の設置

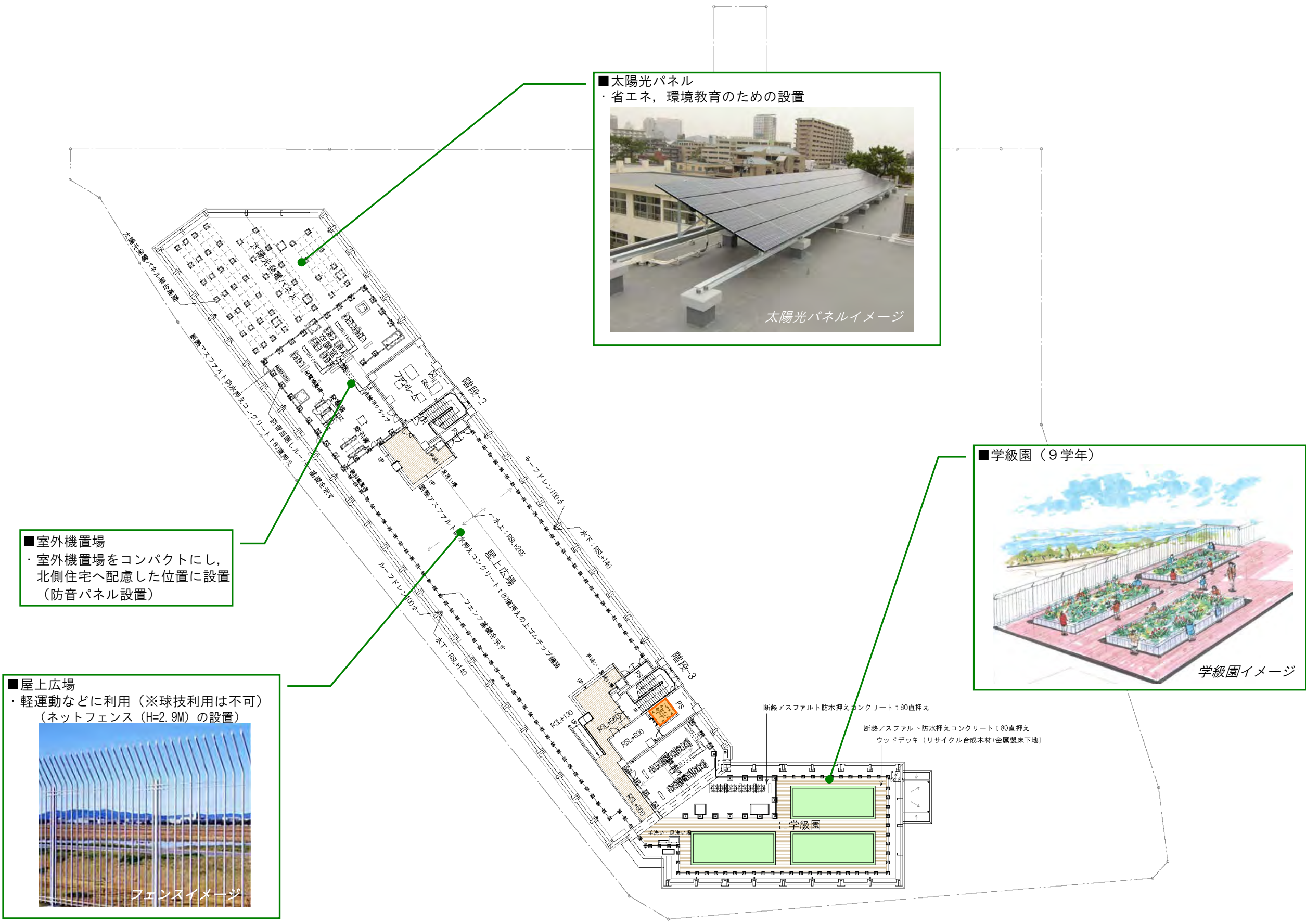
小中同種の特別教室を連続（学びの連続）
<図工室（小）・美術室（中）>

中学生の学習活動の幅を広げる
<ワークスペース>

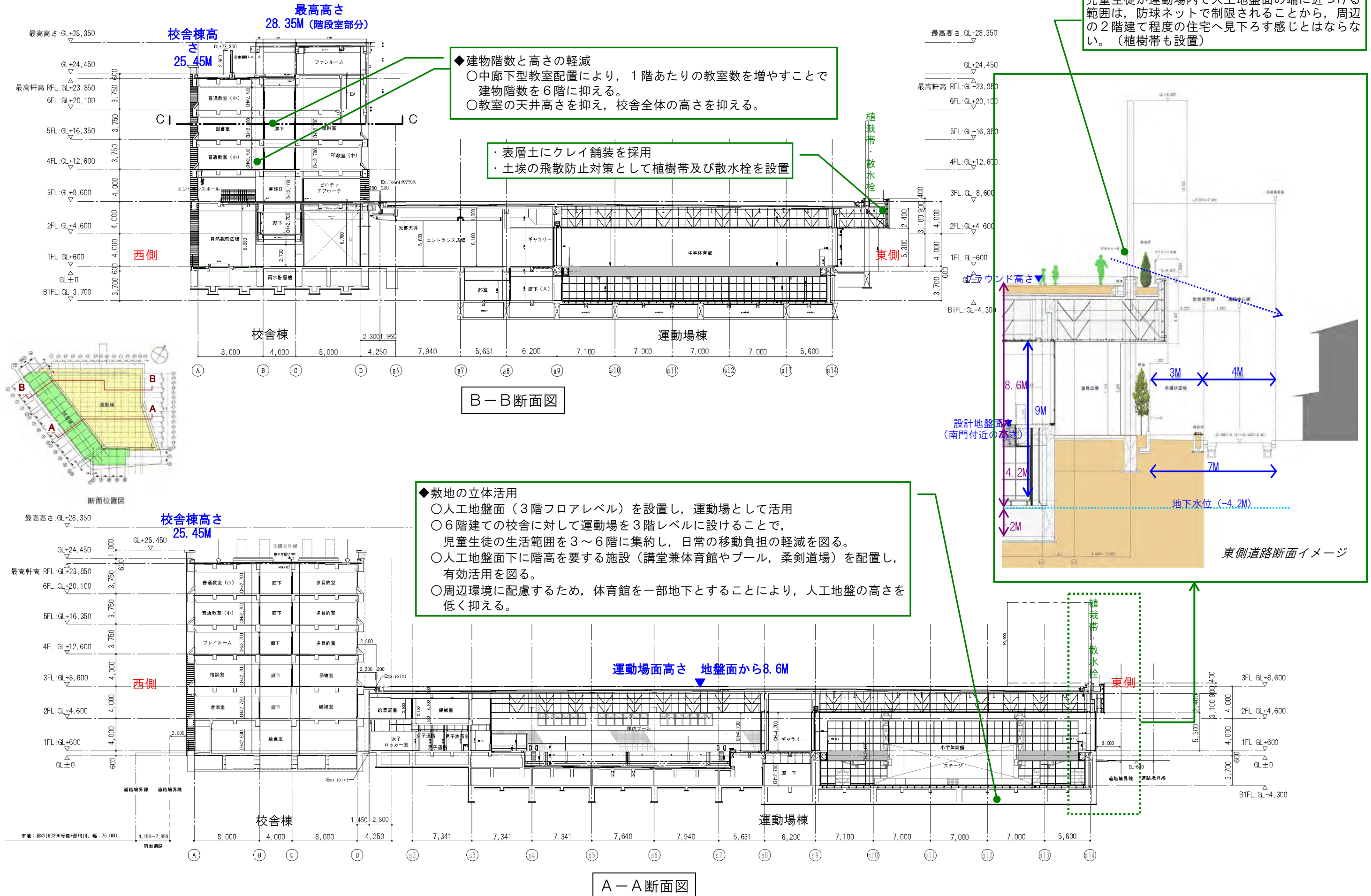
中学校ゾーン



平面計画の概要（屋上平面図）



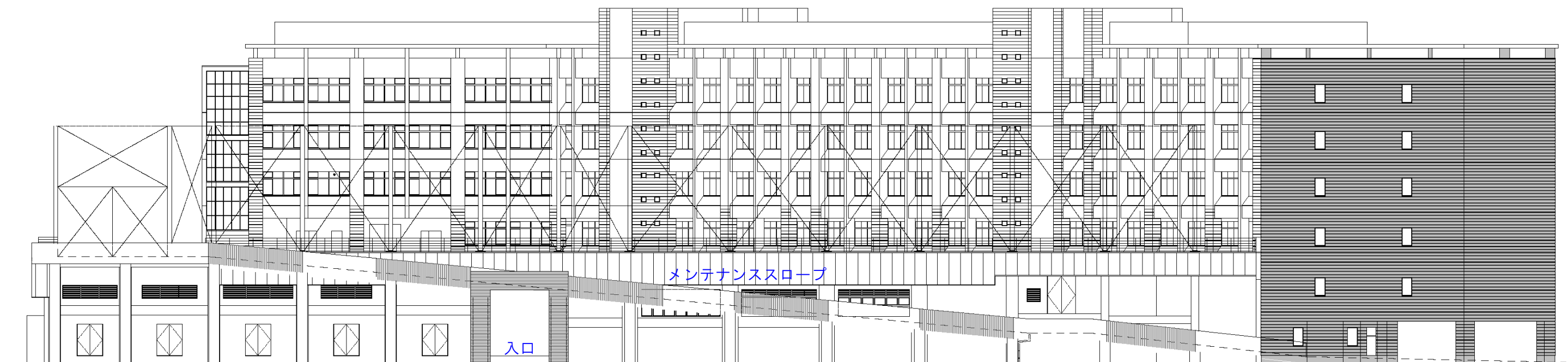
断面計画の概要 (断面図)



立面計画の概要（東・北側立面図）



東側立面図



北側立面図

立面計画の概要（西・南側立面図）



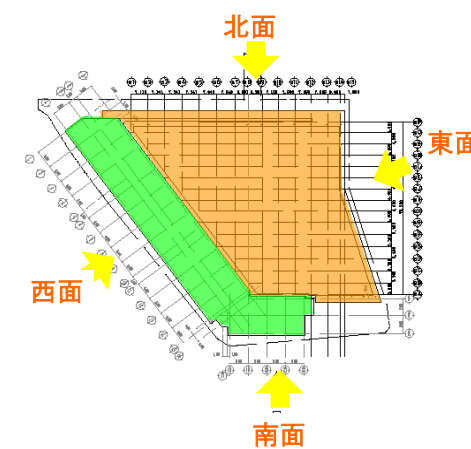
西日の強い日差しを低減する「縦ルーバー（日よけ）」の設置

西側立面図



入口

南側立面図



完成イメージ図

※完成イメージ図は、今後、変更になる可能性があります。



福岡市立
住吉小学校
住吉中学校

西方向からの完成イメージ



南方向からの完成イメージ



北方向からの完成イメージ

住吉中学校ブロック小中連携校 交通安全部会報告

1. 日時・会場

第7回交通安全部会

平成25年1月30日（水）19:00～20:30 住吉小学校プレハブ2階会議室

2. 議題

○雨水整備レインボープラン博多に伴う通学路の検討

○新設校開校後の通学路について

3. 協議結果

雨水整備レインボープラン博多に伴う通学路の検討（下図参照）

○工事期間中の通学路は、大型車両が道路を一部占有することから、代替ルート（下図点線区間）の検討を行ったが、下記の理由により、工事期間中も使い慣れたBルートを継続使用することとした。

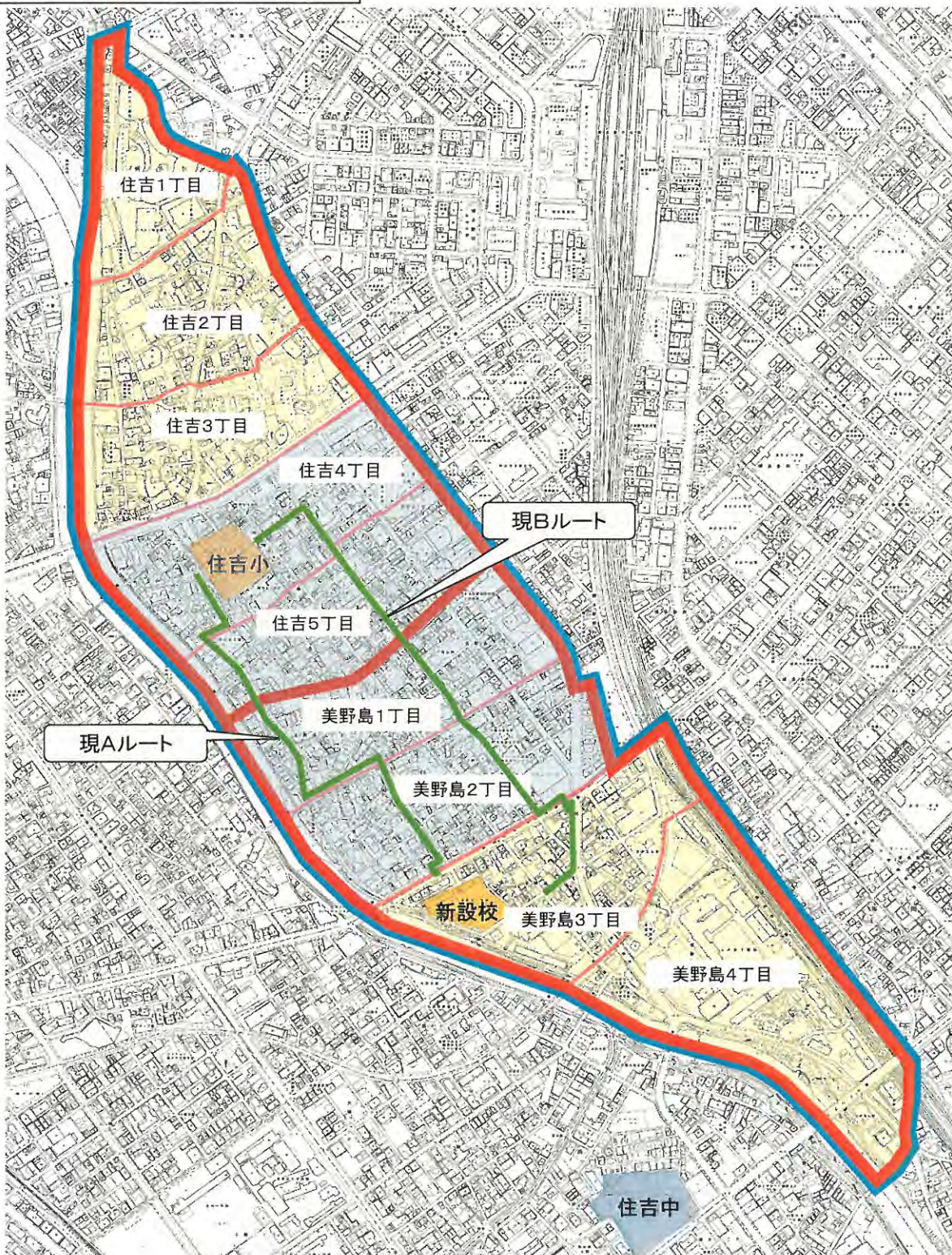
- ・工事は朝の登校後の作業となるため登校時は現行どおり安全な通学が可能なこと。
- ・工事中となる下校時は車両の通行止めとなり、車両との接触の危険性がないこと。

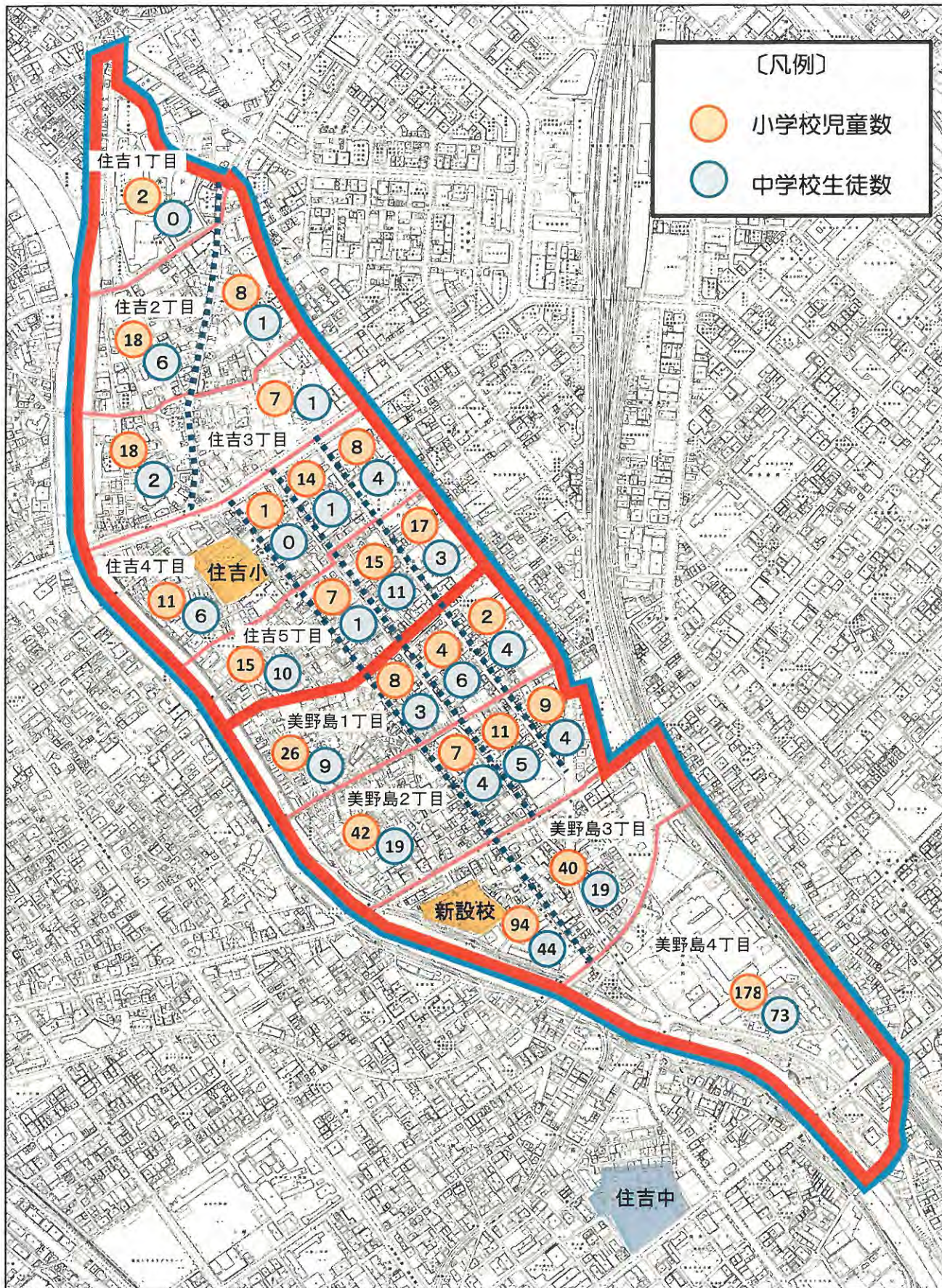


新設校開校後の通学路について

- 現住吉小学校までの通学路の安全対策については両小学校間のA・Bルートである水色エリア（住吉4・5丁目、美野島1・2丁目）を中心に、横断歩道の新設、交通誘導員の配置、カラー塗装や路面標示、注意喚起標示などの安全対策を検討し、実施してきた。今後、新設校開校後の新通学路の検討にあたり、児童・生徒の分布を踏まえ、黄色エリア（住吉1～3丁目、美野島3・4丁目）を含めた安全対策を検討していく。
- 新設校開校後の中学校の新通学路については、新設校は施設一体型の小中連携校となるため、小学校と同一の通学路を使用することとする。
- 部活動における第2グラウンドまでの経路については、今後別途検討する。

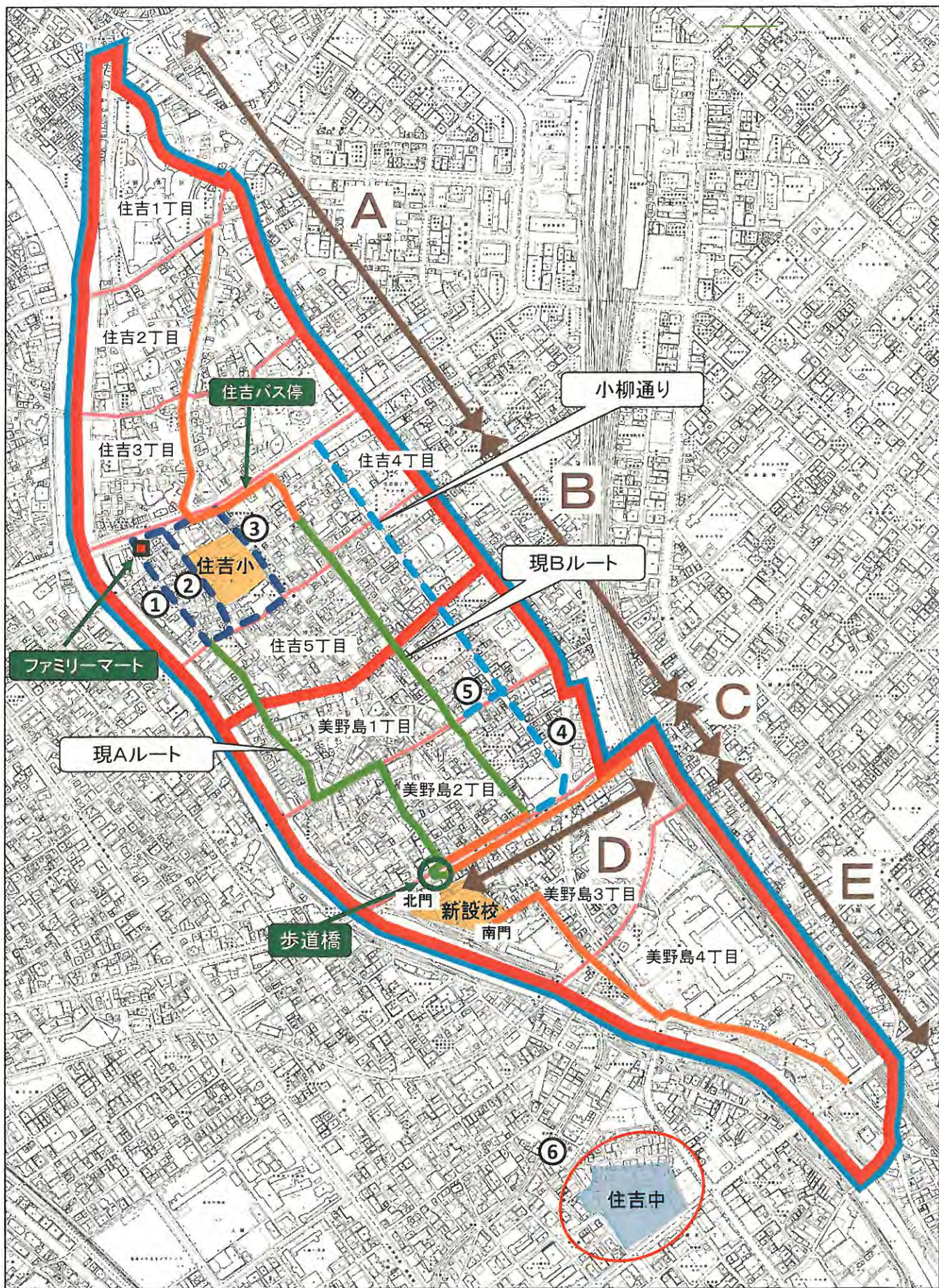
現在の住吉小学校の通学路





事務局提案の新通学路と部会における主な意見

区分	概要	事務局案	部会における意見
A	住吉1～3丁目から住吉通り横断後の通学路	<ul style="list-style-type: none"> ◆歩道整備された「住吉宮前通り」を指定し、西側の歩道を通行。 ◆「住吉小学校前」交差点を横断し、住吉通り南側の歩道を通行して、「住吉バス停」先の交差点から現Bルートへ接続。 	<ul style="list-style-type: none"> ◆住吉通り以北の子どもたちが遠回りにならないように、現Aルートにつながるルートを設定してはどうか。 ・案1：ファミリーマートの西側を通るルート（右図①） ・案2：住吉小学校の西門横を通るルート（右図②） ・案3：住吉小学校の東門横を通るルート（右図③）
B	住吉4丁目から美野島2丁目における通学路	◆現Aルート及び現Bルートを使用。	<ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの分布状況を見て、小柳通りも通学路として検討してはどうか。 ◆小柳通りを通学路に設定した場合、旧サンアローボールの横を通るルート（右図④）と、途中で曲がりBルートにつながるルート（右図⑤）との比較検討が必要。（旧サンアローボール横は歩道未設置のため。） ◆通学路が増えることに伴い、見守り体制が分散することは留意すべきではないか。
C	美野島2丁目から百年橋通りの横断までの通学路	◆百年橋通りの北側歩道を通行し、横断は歩道橋を使用して、北門へ進入。	◆中学生は歩道橋を使わない可能性があるが、歩道橋の使用が最も安全であることから、指導を徹底すべきではないか。
D	美野島3丁目東部における通学路	◆百年橋通り南側歩道を通行し北門へ進入。	◆特になし。
E	美野島3・4丁目における通学路	◆新設校東側交差点までは現行の通学路を使用。同交差点から左折し、南門へ侵入。	◆第2グラウンド（現住吉中学校：右図⑥）での部活動については、別途経路を検討すべきではないか。



住吉中学校ブロック交通安全部会

第7回会議資料

日時：平成25年1月30日（水）19:00

場所：住吉小学校 プレハブ2階会議室

- 1 雨水整備レインボープラン博多に伴う通学路の検討
- 2 新設校開校後の通学路について

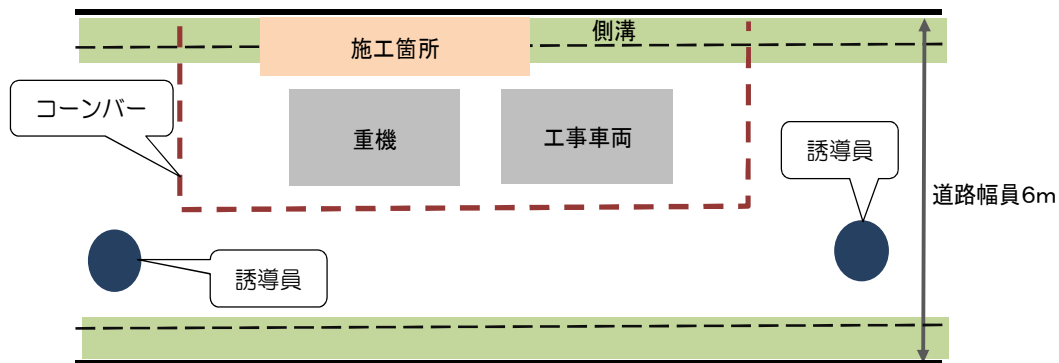
雨水整備レインボープラン博多に伴う通学路の検討

【工事担当：道路下水道局博多駅地区浸水対策室】

○工事の概要

- Bルート区間の一部において今後浸透側溝整備が施工される。工事期間中は下図のとおり、道路の半分程度を工事車両が占拠することとなる。
- 工事は朝の登校後の作業となるのため登校時は現行どおり通行可能。下校時間は下図のとおりとなるが、工事箇所には歩行者専用誘導員が配置される。
- これに伴い工事期間中の通学路について、現行ルートを継続使用するか代替ルートへ変更するかについての検討を行う必要がある。

整備イメージ



○Bルートと代替ルートの比較検討

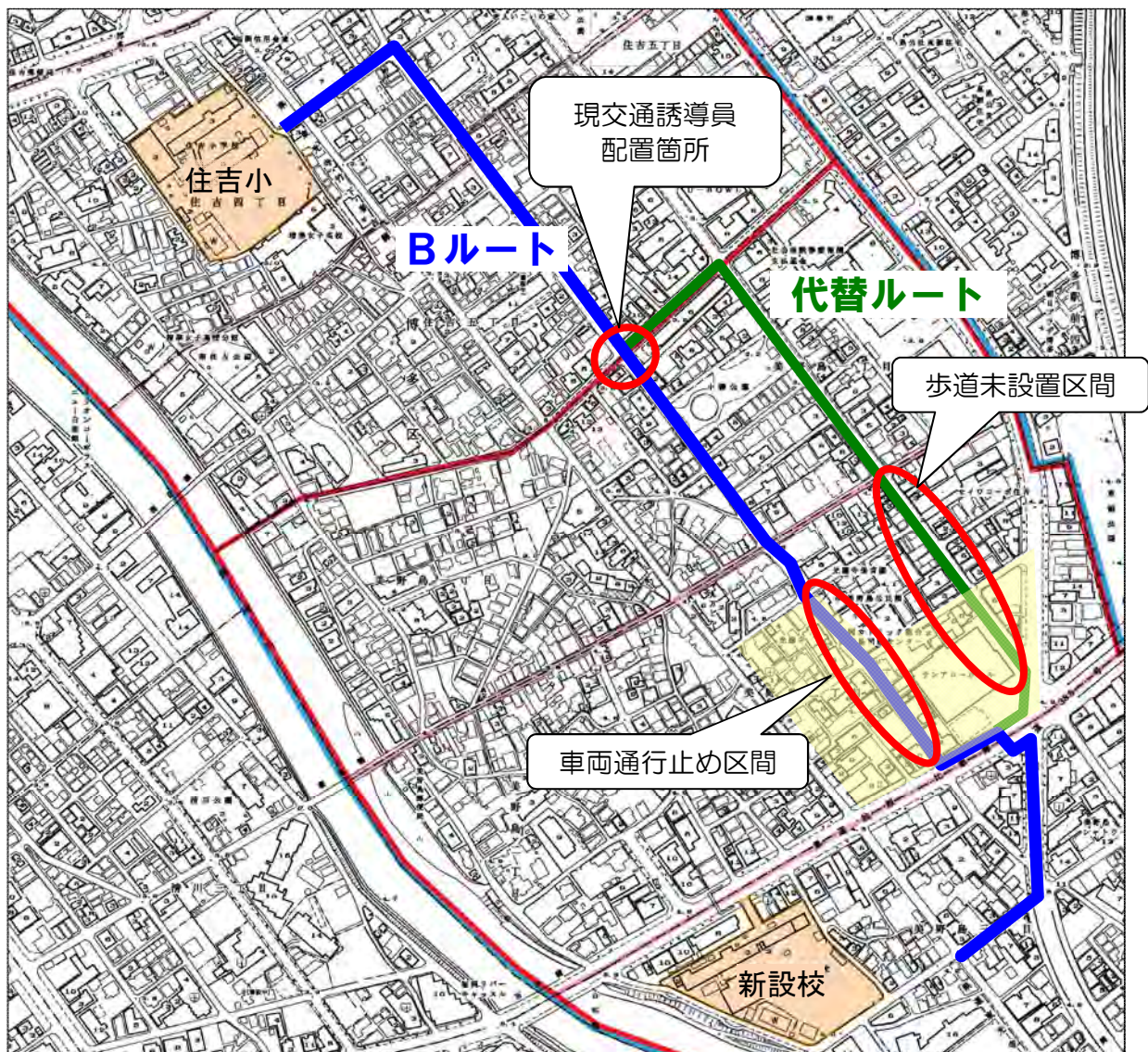
	現況	人的対応（案）
Bルート	<ul style="list-style-type: none"> • 工事車両が通学路の半分を占拠することに伴い歩行者の安全確保のため、車両の全面通行止めを警察に要望し、許可が下りている。 	<ul style="list-style-type: none"> • 施工箇所に工事に伴う歩行者誘導員が配置されるが、別途、教育委員会の交通誘導員を適切な場所に再配置し、児童の安全な誘導を行う。 • 見守り・誘導体制は現行どおり。
代替ルート	<ul style="list-style-type: none"> • 一部歩道整備がなされているものの沿道に車庫や駐車場が多く、歩道を横切る車両が多い。 • 路上駐車が多く、特に歩道が未設置区間において顕著である。 	<ul style="list-style-type: none"> • 教育委員会の交通誘導員の配置箇所を変更。 • 見守り・誘導体制の配置変更が必要となる。

○工事期間中の通学路（事務局案）

現行のBルートを継続使用する。

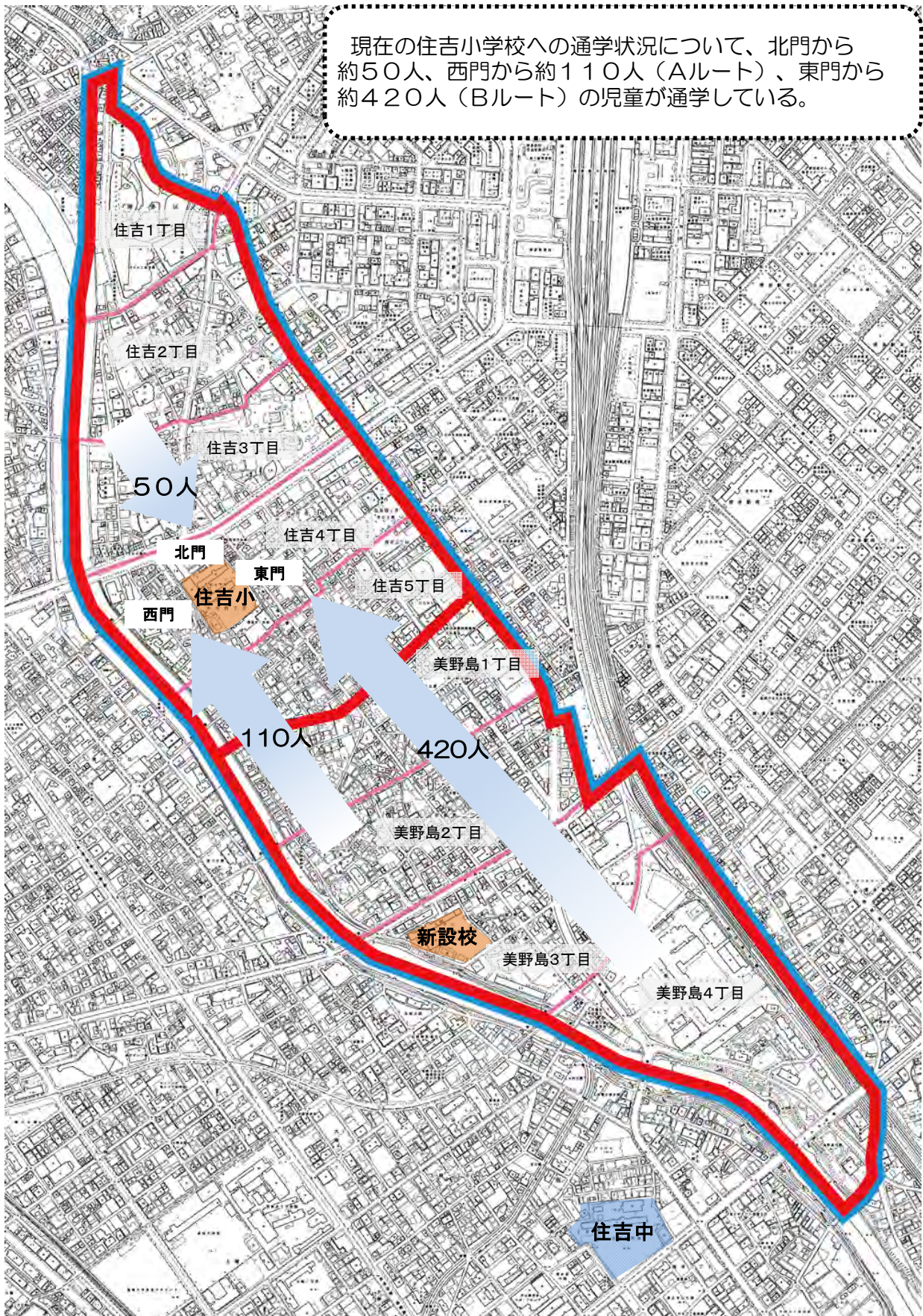
（理由）

- 登校時は現行どおり安全な通学が可能なこと。
- 工事中となる下校時は車両の通行止めとなり車両との接触の危険性がないこと。
- 子どもたちが4月から通っている慣れ親しんだ通学路であること。



新設校開校後の通学路について

現在の通学時の状況



新設校開校後に見込まれる通学時の状況

平成27年4月の新設校開校後は、小学校の児童は北門から約290人、南門から約290人の通学が見込まれる。

また、中学校の生徒は北門から約100人、南門から約130人の通学が見込まれる。

なお、北門から通学する児童・生徒は歩道橋を使用し百年橋通りを横断することとする。

